

諸家系譜

太政官文庫  
和書門  
三三六四九  
類號  
三五  
冊架

う  
鶴岡

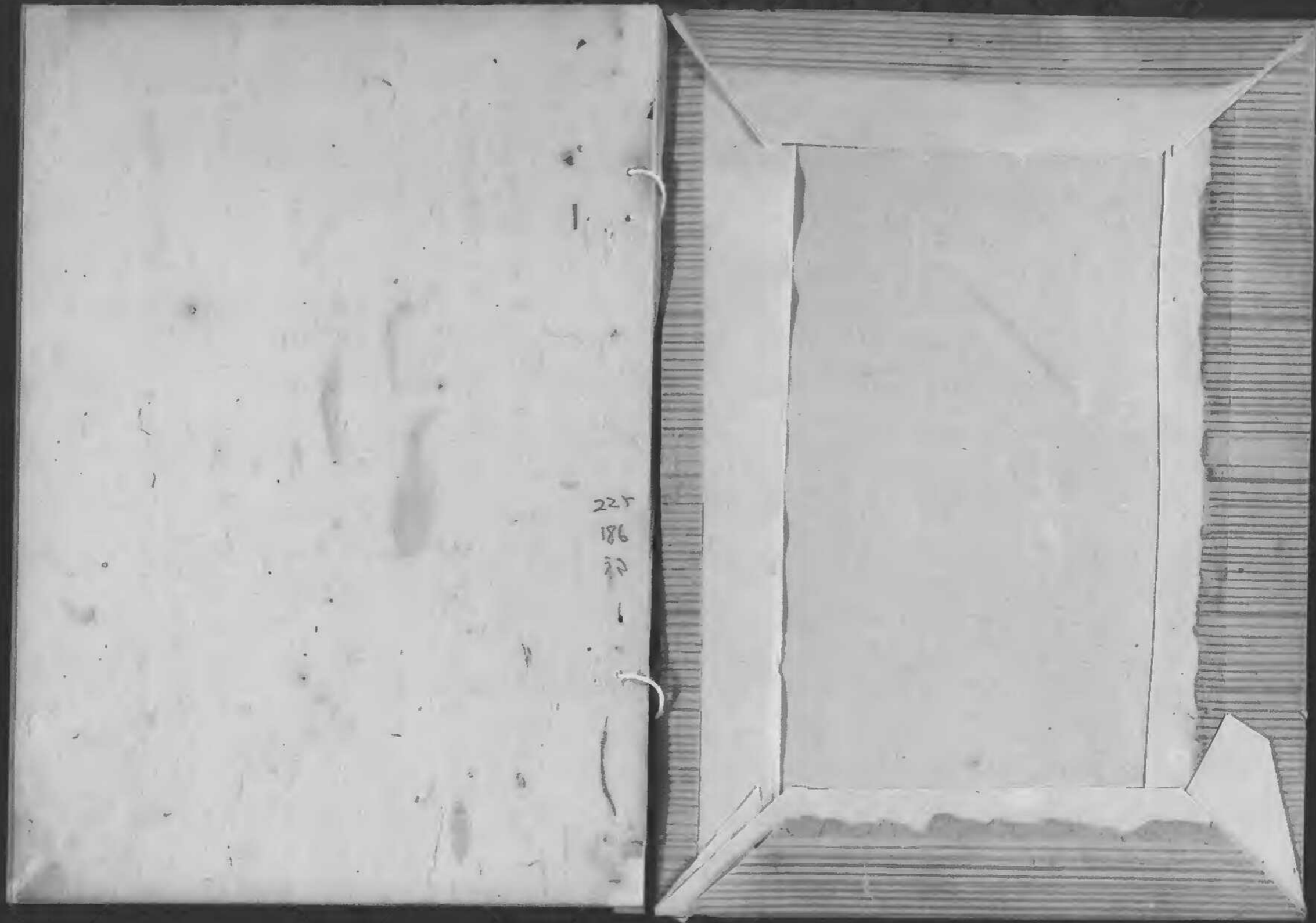
内閣文庫  
和書  
三三六四九  
類號  
三五  
冊架  
五  
冊架

共二百廿五内

共八十七

内閣文庫	
番號和	32649
冊數	225(186)
函號	156 23





225

186

22

十  
小笠原隆成  
出

系譜

う  
友好

友系  
中  
孫  
善  
海  
田  
老  
吉

小笠原隆成  
友系  
友好  
孫  
善  
海  
田  
老  
吉

有德公所代有子孫二平卯年九月以佐川居  
有德公所代有子孫二平卯年九月以佐川居

轉嗣

先祖在十而實道御給下野國佐野  
居佐仕家若轉嗣之稱後家係于  
卯年

御高野山 白出古實道之記

系譜其苗字之中末等者有右祥

家之改 九之内之實貫

3

改改 九之内一川

實道

右十郎

母 右祥

妻 横田右衛門之改重廿

下野國佐野之山生 卯年卯月 右祥

有德公所代有子孫二平卯年九月以佐川居  
有德公所代有子孫二平卯年九月以佐川居  
二己年有死物定之 佐野山 於源清  
右十郎在野山佐野山 卯年

得從不為汝也 作村山日本寺中修  
太師府山所傳之沙彌之奉行業  
對了事 後因年六有餘 始  
所月身之相和 亦在寺 延享元年  
七月大德山全寺 亦 作村山寺  
山在寺 師名傳 亦在寺中 亦列在  
松平 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
亦月所成 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
亦在寺 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
亦在寺 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
亦在寺 亦在寺 亦在寺 亦在寺

致多納 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
亦在寺 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
同年十月通塞 亦在寺 亦在寺  
亦在寺 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
亦在寺 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
亦在寺 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
亦在寺 亦在寺 亦在寺 亦在寺  
亦在寺 亦在寺 亦在寺 亦在寺

正通

母 檢向寺之政重廿



所為の御下男打相神の言為所察之  
御禮取しと志の言能所志業取成候  
則所老中御列長より御女正殿御居  
沙加之より御仁相神取之志同  
正七年十二月七日御居候御成候御  
志何大言言、御居候

女

母 後 格田七乃の御重女

女 安永の御重女御居候

6

女

母 家女

天明六年卯月廿三日御居候

養女

中津川御居候御重女

上野万助の御重女

宮内省御居候御重女

杉村重久の御重女

母 昌輝

女

早世

神戶  
世 能辨 吾等 孫女

母 家女

禮儀 筆由

世 家女

上高冬令心寬以也年十月廿  
福北任同年十二月廿九日 父母或  
相遠以中至以名於氣一何所老中  
以列座安及對身之故以作所中書信  
他河江上學之記、其如其後

實政十五年 正月廿二日 少中書信  
之記、其如其後

某 長次郎 早世

母 家女

而之通以所之記、

与七種信少之記、 本國丹波 張信各長記也  
生國 我身 田女上地、

實政十五年十月 野向合 助 本



了  
法  
行

系  
漢

未  
正  
月  
行  
也

法  
氏  
亦  
有  
法  
者  
地  
同  
也  
也

天  
方  
以  
金  
也  
特  
何  
也  
也

嵯峨深氏

物

法皇御院所臨御食惟原教之系孫  
從二位中納言深氏國子次子野國推由  
松井田人室中侍等忠信三男安中  
法皇御院所臨御食承正乙丙多年中避  
仇移作皇國改姓法皇御院所臨御  
義政白唱

幕之政

凡三子

家之政

凡三子

嵯峨深氏之政

義政生年蘇新之政  
正田院承正由信士  
其外忠實之身  
類燒之書物  
燒矣仕之

政長

世

妻

神皇

神皇御院所臨御食  
正田院承正由信士  
其外忠實之身  
類燒之書物  
燒矣仕之

御膳心玉の事は河國の事は 四時一統  
仁心正しく有る事 御入國の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事

御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事

御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事  
御膳心玉の事は 御膳心玉の事

義明

於何處

母

右記の如く成服病苦等々難お初はる日  
年月日未定高橋より成初はる日  
成初はる日未定高橋より成初はる日  
於何處

改尚

於何處

母

妻

生

右記の如く成服病苦等々難お初はる日

年月日未定高橋より成初はる日

成初はる日未定高橋より成初はる日

於何處

母

改之

於何處

母

妻

生

於何處

敬右後様御代延命之御年日月御以神あり

東御事より神明の御業あり其後

御事あり御事あり

元和十三年四月二十日御初御事

同日 号 御事御事見 日清

改正

御事あり

母 御事あり女

事 御事あり御事あり御事あり

生年月日あり

12

常憲所代延命之御年日月御以神あり

御事あり御事あり御事あり御事あり

月文後様御代延命之御年日月御以神あり

御事あり御事あり御事あり御事あり

同日 号 御事御事見 日清

二宮 御事あり

母 御事あり

御事あり御事あり御事あり御事あり

母 御事あり

御事あり御事あり御事あり御事あり

母 〇

女 〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇

母 〇

女 〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇

母 〇

〇〇〇〇

〇〇〇

母 〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

母 〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇〇

光緒廿九年

宣父以幼嘗曰吾子之向法之何事

宣母以廣其德矣 終何望法以之可

事 治人 以修德也人我者

宣父又曰少年有日吾出以居

不德之所行 多歷其世中年有日吾父政則而

其意宣子嘗居 和休 堤才建 後之

宣子身臥金而死

同年十月廿八日宣父死於家

宣父自廿八日庚子年十月

14

天英院極所居如所學

天英院極所居如所學 其教者 自覺修

辛酉年下月一統如多修以

肥後守經入日身有古之

所居極心居安修學

宣父以辰年有古

所居中極所建宣父 宣父自廿八日庚子年十月

心居安修

宣父自廿八日庚子年十月

宣父自廿八日庚子年十月

同之至國年十月九日... 所考休... 同十八年... 同十九年... 同二十年...

同二十一年... 同二十二年... 同二十三年...

同二十四年... 同二十五年...

同二十六年... 同二十七年... 同二十八年...

同二十九年... 同三十年... 同三十一年...

同三十二年... 同三十三年... 同三十四年...

同三十五年... 同三十六年... 同三十七年...



此有口授之文 派孫致之

同十原長年之月 大國長為建志源後用

柳之口授 亦和同中 乃口授之文 亦和同

安永三年 乃大國一之山 故後用

柳之口授 同年十月 口授之文 亦和同

定我輩之口授 亦和同 乃口授之文 亦和同

年年述年之 口授之文

同而中年 乃口授之文 亦和同

口授之文

同年三月 乃口授之文 亦和同

信生流理用日實

改信 柳之口授

母 以信生流理用日實

室曆十月 乃口授之文 亦和同

信進 信生流理用日實

母 信生流理用日實

實係三君 乃口授之文 亦和同

善治年 乃口授之文 亦和同

如子 物死

母之自

女子

終身之善行也

母之自

女子

母也

母之自

正物

終身之善

出母

川流不息之義者也

實父

四序更迭者古風友人之實

實母

可匡所

山宗 正長女也

事

終身之善行也

17

14

右之書及終身之善行 政務男子之自注

以廣其善者古風友人之正英二書終身

做終身之善行

室曆十月八年八月廿九日同年十月廿六日

通神元德之教以廣其善者古風友人之正英

友人之善行也室曆十月廿四日同年十月廿六日

終身

女子

母

終身之善行也

有女子數條... 實父... 禮父... 改稱... 未... 成

改... 轉... 胡... 改... 稱... 未... 成

孝... 川... 德... 孝... 女

實父... 於... 年... 德... 孝... 女

實母... 於... 年... 德... 孝... 女

書... 忠... 父... 德... 孝... 女

書... 忠... 父... 德... 孝... 女

實保... 王... 妻... 年... 八... 月... 之... 生... 也

漢明公所代書文改稱... 居... 處... 活... 著... 功... 也

中... 年... 青... 月... 初... 年... 子... 也

同... 乙... 酉... 年... 四... 月... 初... 年... 子... 也

松... 年... 月... 初... 年... 子... 也

書... 永... 五... 而... 中... 年... 三... 月... 初... 年... 子... 也

同... 年... 六... 月... 初... 年... 子... 也

中... 廣... 慶... 活... 著... 功... 也

多... 子... 也

安... 承... 八... 己... 三... 年... 六... 月... 初... 年... 子... 也

掛... 以... 也

掛... 以... 也

此乃... 海井... 有... 叙... 之... 序...

天... 元... 辛... 丑... 年... 四... 月...

所... 之... 原... 所... 叙... 之... 序... 之... 序...

同... 年... 宣... 和... 年... 春... 曆... 曆... 之... 序...

所... 叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

此... 年... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

十七

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

元... 和... 八... 十... 年... 十... 月... 十... 日...

所... 叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

叙... 之... 序... 之... 序... 之... 序...

修多敬

寛政二庚辰年正月十日

河内生川州石 修多敬年修多敬

修多敬同日大受正月十日檢御

三受見子修多敬

寛政七乙卯年十月十日

修多敬所下向用向天板石花出修多敬

寛政九丁巳年七月十日西九州修多敬

和物石修多敬下向用田家修多敬

同年三月十日西九州向兼市和物修多敬

20

金平石下向用石修多敬

寛政十四年三月十日

修多敬所下向用石修多敬

以下修多敬下向用石修多敬

同年三月十日西九州向兼市和物修多敬

和物石修多敬下向用石修多敬

同年三月十日西九州向兼市和物修多敬

和物石修多敬下向用石修多敬

和物石修多敬下向用石修多敬

修多

實父 古尾清平正博  
實母 賴阿仙平所孫福女  
右女子依實母結婚回古尾組令田長年  
惣以永年下孫阿仙平所孫福女

女子

母 賴阿仙平所孫福女

女子

母 清

女子

早世

十九

母 右

孝

世

母 右

政久

常治年

母 小倉中右所孫福女

生江府

所見書作

孝女 大筒女

德永世所孫福女

實父松平左衛門長三郎孫福女

右通山所孫福女

21

三三三石砂分取

本國作費 洋紙唐紙等件可  
生國裁裁 同可厚裁

内

外指石地方裁裁同江高村裁裁村  
上係同利裁村 裁係砂分取裁裁

實政十二年春

三方堂自以 東本堂裁

裁紙改裁裁

福

九

22

裁子子子  
裁子子子子

裁子氏  
子子子子子○子子子子子

先紀書

3  
裁子子子  
裁子子子

日房和島  
裁子子子子子  
南野健子  
裁子子子

里人  
權九奇賴長女

也

右女子甲府 即由山景海乃景無長女  
長女後長女子山景由去景輔高長成  
山景景物亦後 年景分實致士已奉  
三月朔 卯也 進為再婚川等  
右女子實致士一已奉年長知也地也  
以長亦除中長 書而一也 卯也

23

源姓

浦野

人王平次代 以和之令 三代之孫  
經基次男 結守府 乃年 任官下  
武野等 滿致次代 後亂 乃自洗武者  
所依後 海若 實長男 浦野 任德也  
平遠 任德 國浦野 任位 仁家 若浦野  
孫中

文化元年 壬午 七月

甲府 浦野 景海 長女 健 兩致  
浦野 十 五 五



御殿 御殿  
御殿 御殿  
御殿 御殿  
御殿 御殿

浦野重遠十六代浦野重長長男

重頼

重頼

母 重女

書 天守書 重頼重長女

生 生身

寛永二十一年甲申年二月廿九日

浦野重長重頼

24

六二

西暦一千九百二十年三月廿九日

此又

重頼重長重頼

重頼重長重頼

延宝元年七月十九日

此又

天和二年三月廿九日

貞享元年甲子年七月廿九日

重頼重長重頼

重氏

新印

松平

母

四女

曾孫 妙子

妻

中人

中村 幸子

生

延享四年 申年 申月 申日 申時 申刻 申分 申秒

百六十人 杖地 獨 中人 能入

只 慶安年 申年 申月 申日 申時 申刻 申分 申秒

白 享和元年 申年 申月 申日 申時 申刻 申分 申秒

百六十人 杖地 七 中人

同 延和元年 申年 申月 申日 申時 申刻 申分 申秒

25

大

同 享和元年 申年 申月 申日 申時 申刻 申分 申秒  
天保十一年 申年 申月 申日 申時 申刻 申分 申秒  
延和元年 申年 申月 申日 申時 申刻 申分 申秒

同 享和元年 申年 申月 申日 申時 申刻 申分 申秒

延和元年 申年 申月 申日 申時 申刻 申分 申秒

母 幼子 長尾 幸子

母 中人 幸子 幸子

猶全

湯

松平

母 中人 幸子 幸子

書 四ノ...

三ノ...

元禄十三年十月...  
...

...

...

有徳...

上...

...

...

...

...

...

日中自其甲辰... 似似在二銀...  
 大向... 甲辰...  
 漸... 甲辰...  
 何... 甲辰...  
 何... 甲辰...  
 信... 甲辰...  
 寶曆八... 甲辰...  
 蘇... 甲辰...

信英

陸奥如懸

十...

27

九五

母

陸奥... 母

書... 甲辰... 信甲...  
 後書... 武田... 信標...  
 後書... 武田... 信標...  
 後書... 武田... 信標...  
 後書... 武田... 信標...

生...

...

有...

...

宝曆四年甲戌十二月廿九日 秋分信  
百刻初之信 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所  
去此又

日八廿五年三月廿九日 秋分信

日廿日 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所

瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所

宝曆四年甲戌十二月廿九日 秋分信

瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所

瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所

瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所

本名

日七廿五年三月廿九日 秋分信  
去此又 己年三月廿九日 秋分信  
瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所

瑞甲所

瑞甲所

瑞甲所

母 甲戌信 瑞甲所 瑞甲所

去此又 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所

瑞甲所

瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所 瑞甲所

正寧 確良 丙午年  
 正寧 確良 丙午年  
 正寧 確良 丙午年  
 正寧 確良 丙午年  
 正寧 確良 丙午年

正寧

正寧 確良 丙午年  
 正寧 確良 丙午年  
 正寧 確良 丙午年  
 正寧 確良 丙午年  
 正寧 確良 丙午年

政

政 確良 丙午年  
 政 確良 丙午年  
 政 確良 丙午年  
 政 確良 丙午年  
 政 確良 丙午年

如

如 確良 丙午年  
 如 確良 丙午年  
 如 確良 丙午年  
 如 確良 丙午年  
 如 確良 丙午年

生 甲辰山縣郡中野

宣和四年十月三日 父辰月甲辰郡

抄年之申辰辰辰辰

女子 甲辰郡中野山縣郡中野

母 乙辰

宣和四年十月三日 父辰月甲辰郡

抄年之申辰辰辰辰

女子

母 乙辰

猶從 乙辰

木八

30

母 乙辰

宣和四年 本國山縣郡

生 甲辰

宣和

甲辰郡中野山縣郡

元化元年 甲辰年七月

二七七 滿野山縣郡

子信  
子你

系

申  
山

系  
子

子  
子

31

本丸



源姓  
浦野氏

足利氏和名是足利氏治守府將軍  
右孫王佐基曾滿政分次代浦野  
信忠与重名信忠回浦野名、佐在  
依浦野(名)...

幕之段 此、酸子  
家之段 口、  
野之段 名、

重名是代浦野氏之重名

重名

母

妻

天保元年正月、不知何處國之生

名傳之代重名是重名、不知何處國之生

不知何處國之生、不知何處國之生

不知

同十有年、不知何處國之生、不知何處國之生  
重名三年、不知何處國之生、不知何處國之生

福會...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

三三

浦津修治

母

...

寛永八年...

33

日正一十一年...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

母

重氏

御野重氏

此字あり

母

重氏

喜

小重氏

此字あり

寛永十一年月日

友有云山代寛文也未年父之居病有美重

成一年三月外未想瓜持居病有美重

立去一外山代未想瓜持居病有美重

其年其代心着お願ひ有居病有美重

何人上居病有美重

月日未想父七喜清形也居病有美重

七喜清之居病有美重

喜未喜喜清也

寛永二十年正月十日病死之墓

其向の号年号

某

御野重氏

母

小重氏

此字あり

如

小重氏

此字あり

忠泰

母

浦野村八郎

長男

母

和子

書

此子眼疾甚重他日  
松村平次又西貞女

延享七未年八月八日生

常憲之所代也永二百年有  
母之身也  
享保十六未年七月十四日病歿

35

中三葉地口  
号局后是空

茂陳

長女

延享十年

母

書

此子眼疾甚重他日  
松村平次又西貞女  
乙未年九月八日生

宝永二百年五月十六日生

右佐所代也永十六未年十月十日  
同十七子年九月八日生  
長女

元文元年十月十日... 延享元年八月... 享和元年... 安永七年...

北日法名仙嶽全雙

如子

是

母

是

如子

仙嶽全雙

中山海部利及妻

母

乙骨平久安及女

如子

母

喜

右向  
 小室信隆白河守  
 中野信隆及女

享保二十九年七月十日  
家曆五十二年十一月十日  
動定之旨は 此の如き  
日十二月十日

信儀院御沙羅送沙法事所用掛紙  
右所用掛紙八月十日  
西和二年八月十日  
安永七年八月十日  
此後所用掛紙  
享保二十九年七月十日

39

不申

安永七年八月十日  
此の如き  
享保二十九年七月十日

右所用掛紙八月十日  
西和二年八月十日  
安永七年八月十日  
此後所用掛紙  
享保二十九年七月十日  
日六十年九月

後明後孫山華送山法事 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

古海 山十月 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

同八 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

禁表 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

同十月 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

時後 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

實政 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

山員城

禁表 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

山員城

山員城

山員城 山法事 山員城 山法事 山員城  
山員城 山法事 山員城 山法事 山員城  
山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

同二 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

禁表 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

禁表 山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

山員城 山法事 山員城 山法事 山員城

如後所所分紅白結編書卷

右一週三所所分陽氣四年十月十五  
物所化日木八分以陰氣全五分改或化  
日所之年述不初日年分有而病死  
而大也華地日身壽山乞招

女

陰佈

母

有月

日身更五初也

天所元身年三月十五初死終

成也

女

心動之

母

有月

是林所中年化陰事

女

心化常長分也

母

有月

是向修方門度動事

張武

長命命

如書之也

母

中書所修四澤也

妻

心化身也

林名又助志陰女

家曆十三末年十月新 以生



義休

吉原虎江

母

若乃

寛政四年年一十月二日卯時生  
しつし山幸江江左衛門左衛門  
同八年年一十月一日卯時生  
所月日之持松子紀嘉定し  
若乃お物事

天明四年年一十月廿五日  
利安吉原の

女子

母

若乃 新島嘉兵衛

九八

女子

母

若乃

新島嘉兵衛

寛政四年年一十月廿五日

右ノ通

子百依

若乃

新島嘉兵衛

三指信

寛政十年年一十月

浦野嘉兵衛

五

冊  
元文  
登  
後

系譜

未  
三  
行  
大  
分  
柳  
田  
三  
郎  
右

長  
子  
氏  
子  
三  
郎  
右  
○  
柳  
田  
三  
郎  
右

小  
子  
三  
郎  
右  
三  
郎  
右  
柳  
田  
三  
郎  
右

41

木  
丸

源姓

浦野

先和浦野信良字重忠信良回浦野在  
任同以承氏

心能仁

寺辰

嘉仁

口久

家仁

口久

智仁

稻穂

重忠中家

保良

浦野信良

信良之信列如印 承忠

重忠

口久

母

口久

喜

口久

天正九年八月五日能信良生  
能信良於此列口 口久之列口地方口口口口口口  
元和九年正月列口所信良也



母

母

母

母

母

年月 母知生

延享八中年八月廿六日父江成生

母知生 母知生 母知生

母知生 母知生 母知生

元禄六酉年九月廿二日母知生

母知生

享禄三年八月廿七日母知生

母知生 母知生

昌教

母知生

母

母

母

母知生

元禄六酉年九月廿二日母知生

母知生 母知生 母知生

母知生 母知生 母知生

母知生 母知生 母知生

元禄六酉年九月廿二日母知生

古物より此痛字あり

延享元年十月十日小室信之入京  
月、日、時、刻、色、小室信之、  
少頃入京十月十日、  
華北回号、

昌永

信之

母

喜

小室信之  
元三九

元禄九年十月十日

45

寛保九年十月十日  
延享元年十月十日  
三月九日  
第一回

寛延元年十月十日  
仙石  
神名

其初通公之體也 以有子孫 禮名已誠也

寶曆三丙年 亦有子孫 禮名已誠也  
病年三月 同日 禮名已誠也  
同十丙年 三月 十日 禮名已誠也  
葬地 禮名已誠也

室鋪

何多姑

母

喜

久三在坊

文書

野香名女

香又子名昌名女

46

享保十三年十月五日 放<sup>於</sup>生  
有任公所代父法乃<sup>於</sup>年病年有

室曆三丙年十月 禮名已誠也  
同年十二月 十日 禮名已誠也  
九月 十日 禮名已誠也  
九月 十日 禮名已誠也  
九月 十日 禮名已誠也  
九月 十日 禮名已誠也  
九月 十日 禮名已誠也  
九月 十日 禮名已誠也

寶曆九年正月十二日有言  
 修政以言 杉平右衛門尉  
 老衰修政  
 寶政 六年正月  
 同月十日有言  
 以修政  
 同月十日有言  
 修政  
 修政  
 修政

重

虎

母

事

事

明治九年正月  
 寶政  
 同月十日  
 修政  
 同月十日  
 修政



平田河内守家記

同六年十月病重  
言終至四月十日  
病死仕四年十月  
大なる病父有終  
通終父虎く出  
以下至四里  
子孫子孫終合  
百六孫孫  
以下至四里  
書終終終終  
終終終終終

同七年十月  
同八年十月  
同九年十月  
同十年十月  
同十一年十月  
同十二年十月  
同十三年十月  
同十四年十月  
同十五年十月  
同十六年十月  
同十七年十月  
同十八年十月  
同十九年十月  
同二十年十月

48

111

同八年十月  
同九年十月  
同十年十月  
同十一年十月  
同十二年十月  
同十三年十月  
同十四年十月  
同十五年十月  
同十六年十月  
同十七年十月  
同十八年十月  
同十九年十月  
同二十年十月

女子

母

女子

母

女子

福永年人正親喜  
部人紅子孫

母

正月

重安

毎日の

母

子

天保元年正月十日

所故又浦野虎之忠告以地地

之礼

寛政八年正月十日

所故有乳玉日月

三月十日

49

甲七

宗女百歳之日後

也

四月十日

右通

之

天保元年

正月

寛政二年

浦野

五

海新  
文庫十二

系譜

未詳  
海新之系譜

海新  
海新之系譜  
□

小室  
海新之系譜  
植木孝八年

50

清和源氏

植村氏

先祖乃北河尉室門常陸國主名  
植木と稱時代在後多相成不詳

葉之紋 根筆九萬

家之紋 丸之内之鳥

勢之紋 根筆五七桐

室門十本

藤室

海島少尉

内大臣多利兼下各細之成方知不詳

藤信

海島少尉

母 不知

喜 同

生年 年月日 時代地名 不知

天正四年 少年 年月日 不知

神名 能之別 景清正 不知 地名 不知 不知

書 以 勅 勅 向 中 八 名 宣 奉 國 系 所 入 國

所 依 任 之 處 上 總 國 長 務 部 一

四 代 友 之 少 相 勅

廣長文正五年九月日卯刻了物死仁年  
月日英華地法名亦知男

政信

先

母

不知

喜

日

望平年月日卯刻

右政信

神名所代年月日卯刻後部信

石部國系所陳一河依仁所取名

52

年

之後出坂為所陳一河依仁所噴陳  
心廣寬亦元平年月日卯刻所更守  
高口作行 四地燒夫所噴陳心廣寬亦元平年  
動方長中深子曾一年月日不知  
月十八年己年方日十下止死仁年不知  
以名小寺町養國寺上葬  
法名常守信信生

清久

子

母

不知

喜

不知

不知

不知

出生年月日地所不知

右清久侯

大藏公所代宣永承八年己未八月日取知父

改任保赤司正色

同二十五年年月日不知改任所著名

山形集方徳所製之書中三年

本朝文祿六年壬午改任所著名

小右少室所中征大徳寺住持中

同年二月十日取知世隱所著作

同十二年三月十日取知所著作

53

年所不知地所不知長圓寺  
法名 頓悟 宗圓居士

清勝

初名 伯

后名 伯

母

山形集

相色 清久之妻

喜喜 山形集 荒川 清久之妻

出生年月日不知

右清勝侯

常宣名 所代名 祿六年己未八月日取知父

家智 山形集 清久之妻

元禄十一年十月十日  
同十三辰年三月十日  
寅之末  
寅年二月十日  
寅年十一月十日  
寅年九月十日  
寅年七月十日  
寅年五月十日  
寅年三月十日  
寅年正月十日  
寅年十一月十日  
寅年九月十日  
寅年七月十日  
寅年五月十日  
寅年三月十日  
寅年正月十日  
寅年十一月十日  
寅年九月十日  
寅年七月十日  
寅年五月十日  
寅年三月十日  
寅年正月十日  
寅年十一月十日  
寅年九月十日  
寅年七月十日  
寅年五月十日  
寅年三月十日  
寅年正月十日

勝邦

母 亥年三月十日  
妻 亥年三月十日  
子 亥年三月十日

右勝邦後

有徳公所代亥年九月十日

父清経亥年三月十日  
丹波多組

同亥年三月十日  
所著入

清和御覽年日月日不知

同十三日 申年二月廿七日 孫可經以唐浦

所用之石 石上之石 石上之石 石上之石

上方地刺 孫可經 孫可經

同日 申年八月廿六日 孫可經 孫可經

石上之石 石上之石 石上之石

石上之石 石上之石 石上之石

名不詳

勝邦 同母

55

名不詳

右同母

石上之石 石上之石 石上之石

如子 孫可經 孫可經

右同母

勝亂

虎

世 子

其 子



享保十四年四月二十日

右膳胤儀

有徳公所代享保二十九年十二月八日

改印此書

公后御川攝摩書

延享三年六月十日

所月之在日

年卯十九日

法名藤照院

女子 存希 西山 長吉 豊昌 喜

56

久胤

富子

中毎

実母小室

書

享保十六年

右久胤

博信公所代

病有是堂

讀以久胤



安永三申年十一月朔日、鴻澤部  
 子紀成、同乙亥年二月廿七日、山内切  
 子紀成、子紀成  
 同九月、亥年十二月廿七日、山内切、一統  
 所自見、仁兵衛、亥年四月廿日  
 朔日、水野清吉、子紀成  
 同六月、亥年八月十日、山内切、部  
 寅之政、亥年六月廿日、菅沼  
 子紀成、同乙亥年八月十日、山内切  
 同乙亥年八月十日、山内切、部

某

端の 忠世

勝榮 カウキリ

孝八郎

母、書、身、行、野、呂、吉、子、所、正、通、廿

安永八己亥年十月、亥年、山内切、生、信

新成

當所代、亥年、八月、亥年、四月、廿日、父、宣、胤  
 忠、智、兵、相、遠、山、内、切、先、中、戶、田  
 宋、廿、日、辰、子、作、治、如、父、時、小、吉、治、如

物田之文様交死片断  
右之通心片断

高百依即人様也  
田印控石地方  
在田二向  
着田家也  
田家新屋矣

寛政十一己未年  
桂木李八郎  
五

五七

末吉百海  
多謝踏行片断

系譜

高木氏  
子之原之書  
物田之文様

了改  
右行

高木氏  
植林  
少

高木氏

高木氏

高木氏

桂林

桂林

桂林

桂林

桂林

桂林の八代

桂林

實通

小治政の道

宣和二年

天保二年

華海川

女子の

女子

實通

女子

母育

書

清喜

延元二年九月

新記

元祿四年

元祿八年

元祿十五年

享和元年

文政元年

天保元年

天保五年

天保十年

天保十五年

葬回り号 智多院 女 中 遊

某 源 由

母 三 白 氏 女

享保四年 乙未 除  
享保十二年 壬子 訃 訃

女 瀧川 澄 氏 女 石河 三 氏 妻

母 上 白

女 甲 府 前 島 依 集 人 妻 女

母 上 白

女 梅 氏

母 上 白

享保十三年

九一

61

瑞 壽 院 祿 承 次 氏 女

享保五年

利 根 氏 孫 氏 女

享保元年 乙未 訃 訃

他 作 原 氏 孫 氏 妻 氏 女

明和九年 七月 訃 訃

寄 氏 女

瑞 壽 院 祿 承 次 氏 女

連 松 氏 桃 氏

母 三 白 氏 女

享保四年 乙未 訃 訃

享保十二年 壬子 訃 訃  
享保二十二年 乙未 訃 訃

享保二年 壬子 訃 訃  
享保二十二年 乙未 訃 訃

寛延四年八月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年九月九日吉河大橋の北に記  
 寛延二年九月九日吉河大橋の北に記  
 同年十月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年十月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年十月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年十月十日吉河大橋の北に記

寛延四年八月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年九月九日吉河大橋の北に記  
 寛延二年九月九日吉河大橋の北に記  
 同年十月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年十月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年十月十日吉河大橋の北に記

寛延四年八月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年九月九日吉河大橋の北に記  
 寛延二年九月九日吉河大橋の北に記  
 同年十月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年十月十日吉河大橋の北に記  
 寛延二年十月十日吉河大橋の北に記

寛政七年十月廿八日

母 林氏 女

寛政七年十月廿八日

母 林氏 女

寛政七年十月廿八日

母 林氏 女

寛政七年十月廿八日

母 林氏 女

寛政七年十月廿八日

同年十月廿八日  
相勤之至也  
寛政十年十月廿八日

女 林氏 女

寛政七年十月廿八日

母 林氏 女

寛政七年十月廿八日

女 林氏 女

寛政七年十月廿八日

母 林氏 女



泉 改訂

母有

女 母有

女 史例

宣少人依若乃胤行也

女史例

水之雅非所改改者相親之節命之身何人  
注云史記仕女每有之也

寛政九年三月三日 宣少人依若乃胤行也  
川原屋分仕女也

四年三月三日 宣少人依若乃胤行也  
四年七月三日 宣少人依若乃胤行也

64

一

志 通 四 月 三 日

高 三 日 志 宣 少 人 依 若 乃 胤 行 也

寛政十二年三月三日 宣少人依若乃胤行也

五

5  
法外

系籍

未詳  
和歌集  
河内守  
和

65

法外  
和歌集  
○□  
河内守

和歌

中書省  
和歌集  
法外  
極強九八所

深姓

姓考

先祖出所考

熊鷹紋

黒龍

赤鷹紋

黒條

赤虎紋

黒條白虎刺

赤虎紋

黒條白虎刺

政通

如左

父母考

考一

孝考

出生年月日所考

足利公家、末世歩陸國、知所考

長者時代、知所考、一、知所考、陸國、

知所考

陸國、知所考、一、知所考、陸國、

年月日所考、知所考、陸國、

年月日所考、知所考、陸國、

年月日所考、知所考、陸國、

知所考

政久

三ノ忠

母子

壽考

年月日未詳生年未詳回

實年七十九年九月未詳

大敵年未詳長後年未詳

慶安三年庚午年九月未詳

修年未詳

長治元年未詳

同日辛卯年

69

卷之三所出各下所移位

政久

實年九十九年九月未詳

永享元年未詳

心悟未詳

延享元年未詳

運算寺中未詳

号 玉院未詳

政久

海久

母書

喜書

年月日 志生 行府

寛文九年 正月 日 志生 行府  
延宝八年 正月 日 志生 行府  
志生 行府 志生 行府  
志生 行府 志生 行府  
志生 行府 志生 行府  
志生 行府 志生 行府

政訓

志生 行府

志生 行府

書母書

實父書

實母書

年月日 志生 行府

志生 行府 志生 行府  
志生 行府 志生 行府  
志生 行府 志生 行府

延宝八年 正月 日 志生 行府

志生 行府 志生 行府

天保十三年 正月 日 志生 行府  
志生 行府 志生 行府  
志生 行府 志生 行府

宣和元年丁未年六月廿二日  
宣和元年七月廿二日  
宣和元年八月廿二日  
宣和元年九月廿二日  
宣和元年十月廿二日  
宣和元年十一月廿二日  
宣和元年十二月廿二日

政之

新

世安女

宣和元年甲申年八月廿二日  
宣和元年甲申年九月廿二日  
宣和元年甲申年十月廿二日  
宣和元年甲申年十一月廿二日  
宣和元年甲申年十二月廿二日

69

宣和元年甲申年八月廿二日  
宣和元年甲申年九月廿二日  
宣和元年甲申年十月廿二日  
宣和元年甲申年十一月廿二日  
宣和元年甲申年十二月廿二日  
宣和元年甲申年正月廿二日  
宣和元年甲申年二月廿二日  
宣和元年甲申年三月廿二日  
宣和元年甲申年四月廿二日  
宣和元年甲申年五月廿二日  
宣和元年甲申年六月廿二日  
宣和元年甲申年七月廿二日  
宣和元年甲申年八月廿二日  
宣和元年甲申年九月廿二日  
宣和元年甲申年十月廿二日  
宣和元年甲申年十一月廿二日  
宣和元年甲申年十二月廿二日

明孝子分年路記 所由之由

有御之由 所由之由

延享二己丑年三月廿四日 歲次癸亥

恭尋 皇一湯院元正日休

壽三 所由之由

母 安女

兄彰君及所由之由 所由之由

所由之由 所由之由 所由之由

所由之由

政信

六一

母 所由之由

所由之由 所由之由

所由之由 所由之由

所由之由 所由之由

所由之由 所由之由

所由之由

所由之由 所由之由

所由之由 所由之由

所由之由

所由之由

所由之由 所由之由

四節定所書物用之 行所名 昭和十一年  
右記の如く行後

同日の如く四節定所上 子如所物

同年の如く本之四節定所書物用之 同節定

の如く由事所の如く 所先之如く

昭和十一年の如く行後

安永其為十年の如く行後 右同節定所

昭和十一年

昭和十一年の如く行後 男子如所物

昭和十一年の如く行後 男子如所物

同年の如く行後 男子如所物

昭和十一年の如く行後

昭和十一年の如く行後 男子如所物

昭和十一年の如く行後 男子如所物

昭和十一年の如く行後 男子如所物

政由 昭和十一年

昭和十一年 男子如所物

昭和十一年 男子如所物

昭和十一年 男子如所物



宣統元年五月廿一日生於府  
紅旗之續海軍部一等威正於二月  
年七月廿二日父海軍部於通海  
以山海關知府之子表名以海國  
之聲名友如父之友以海軍部  
之聲名同知中於年三月廿一日

海國

山海關知府之子

同八月廿一日生於大正改號海軍部  
同年七月廿二日父海軍部於通海  
其後子死於宣統元年十月廿一日

海國

孝子

海國

過又於人而後事

宣統元年七月廿二日

母家女

海國

高麗依人

生國武

居在東京川世塔山

宣統元年九月

長田  
長田

印

未  
長田

先租書

長田  
田  
田

了  
長田

西  
長田  
長田

乃多保氏

柱回

本苗依々本道公國甲斐郡桂田村住人  
桂田氏之苗裔三代之孫桂田角牛也

家之紋 四目結

幕之紋 右のり

羽之紋 橘

74

71

桂田氏之苗裔三代之孫

桂田角牛也

与重 之休

母 乃多保氏女

喜 乃多保氏

年月日五志回所五志生

苗裔院林所代新紋也 乃多保氏

桂田氏下乃多保氏四世之孫也

年月日乃多保氏乃多保氏也

海

和延命 外居院

実父

松田扇中次男

実母

菅氏女

妻

近藤氏

江原書生

年月日不知 兄体之云重致也 満  
与年暮子云云 此云云

年月日不知 妻父 此即云云 下 菅氏  
与改云云

沙屋同方云 此有部之云云

05

何年 月日 不知 沙の水方 亦神。

元禄六年 月日 不知 東野云云 此付  
后助云云 此云云

同七年 月日 不知 此云云 此云云  
云云 此云云 此云云 此云云

同八年 月日 不知 此云云 此云云  
此云云 此云云 此云云 此云云

同九年 月日 不知 此云云 此云云  
此云云 此云云 此云云 此云云

同十年 月日 不知 此云云 此云云  
此云云 此云云 此云云 此云云

卷首云所公年一終一所画涉所今之其所作  
 同十二年一乃中分涉次者之幼者  
 之 所行  
 家水之五年一乃大有一流小者其大  
 之 所行 杉年一乃中分涉次者之幼者  
 本和系之但一乃成  
 年月日多知能也其 所行 杉年一乃中分涉次者之幼者  
 廣文物也其  
 其 所行 杉年一乃中分涉次者之幼者  
 法名 潘光院 志 哲 日 名 年 也 未 編 与

蘇中

原之

原之部

大川嘉多  
 村田九郎 種の 嘉衣  
 實父  
 實母  
 嘉  
 嘉  
 河原 嘉衣  
 正徳元年 八月十日 續六  
 原の 潘光院 志 哲 日 名 年 也 未 編 与

享の保二百年三月十日  
 市立小菅站但柄木形中  
 同九月年四月十日  
 向生西宮  
 法名還降院本嚴住宿

女子  
 母 名三命及喜  
 早也

母 前月

子 改  
 中根大隈守中  
 河津勲子

母 年喜  
 河津勲子

享保十三年十月十日  
 氏子小菅新屋  
 延享元年四月十日

一第入依禮修善修德  
 同年八月廿七日回安進習者以修德  
 同三年八月廿七日回安進習者以修德  
 弟向号心解院體忘不脱

与次

母

早也

中松太郎子

河津助子

妙子

母

早也

松平利介子

七二六

親延

孫太郎

實父

知事子

植田長勝子

實母

早也

早也

早也

年月、不知從中遠、續志、然而、致

養子、早也

延享三年十月、言養父、早也

實母、他、大、忠、早、子、祝、成、早、也

神十郎の墓

寛延二年十月九日寅父長徳  
安田屋の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳

79

丁七

寛政九年

寛政九年七月十日  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳  
長徳の御孫長徳の御孫長徳

元亨

御名長徳 長徳

田中用人長徳

寛父

長徳の御孫長徳の御孫長徳

寛母

長徳の御孫長徳の御孫長徳

寛妻



江戸の生

其の也 嘉永十一年十月廿九日 宣方才續志  
常乃人常先 其の也 宣方

寛政九己年 宣方 其の也 宣方  
其の也 宣方 其の也 宣方

同十年八月一日 宣方 其の也 宣方  
長田 其の也 宣方

宣方 其の也 宣方

母 家母 宣方

右 宣方 其の也 宣方

其の也 宣方 其の也 宣方

寛政十一年 宣方 其の也 宣方

了家原

先祖書

未上月廿五日

清和源氏。  
百七拾九番。堀田屋守

上校 兵部

高宗

上校

東政竹丸  
西島雀

面相似者初作

大御冠 德川氏後胤式 乾仁院 皇太子 御孫 高宗  
皇太子 德川氏 御孫 高宗 親王 德川氏 御孫 高宗  
御孫 高宗 御孫 高宗

元祖

白河公成 高宗 御孫 高宗

母系

後世下

高宗 御孫 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗  
高宗 御孫 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗  
高宗 御孫 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗

從三位 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗  
高宗 御孫 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗

右圖

高宗 御孫 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗  
高宗 御孫 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗  
高宗 御孫 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗

神皇正統記 卷之四 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗  
高宗 御孫 高宗 御孫 高宗 御孫 高宗

山

寛永二十九年八月十二日死 葬所 妙法寺

葬地 不知 号 真松院 宗明 宗明 宗明

某所 大徳寺 中 真性院

妻 上杉 彈正 頼朝 虎 女

實長尾 信忠 守 孫 女

一男 上杉 河内 守 長久

二男 上杉 河内 守 長久

三男 上杉 河内 守 長久

四男 上杉 河内 守 長久

五男 上杉 河内 守 長久

73

初代 上杉 河内 守 長久

母 上杉 氏 女

慶長 年中

大徳寺 妙法寺 中 真性院

某所 大徳寺 中 真性院

某所 大徳寺 中 真性院

某所 大徳寺 中 真性院

某所 大徳寺 中 真性院

某所 大徳寺 中 真性院

一男 上杉 河内 守 長久

母 上杉 氏 女

寛文二年四月  
 慶安元年十月十日  
 承應二年十月十日  
 寛文二年十月十日  
 蘇白子 号 西堂院 了因 国孫王  
 女御 長春院 法下 位 御女

婦子 上秋少御守 長之

母 子 爲 氏 女

妻 白山院守 御 室 女  
 寛文二年十月十日  
 定安五年十月十日  
 貞和三年十月十日  
 貞和四年十月十日

兼 同 号 号 惠 性 院 初 戒 日 定 孫 王  
 女御 春山 信任 妻

女御 春山 一之 女

婦子 上秋少御守 長宗

母 子 爲 氏 女

自 享 天 元 年 十 月 十 日  
 自 享 二 年 十 月 十 日  
 自 享 三 年 十 月 十 日  
 二 男 上 秋 少 御 守 長 宗  
 兄 爲 孫 子

女御 上秋少御守 長宗

母后山氏女

喜 曾我國孫守 卯辰女

自享三十二年卯辰月廿五日辰時生

享三十二年卯辰月廿五日辰時生

七代目 上杉部知長

女 母后山氏女

實 自山氏女 享三十二年卯辰月

女 母后山氏女 卯辰月

喜 山氏女 卯辰月

享三十二年卯辰月

實 係元酉年卯辰月

享三十二年卯辰月

華向与 号 東山院卿修日唱大居士

婦子 上杉無房 女

享保八卯年十月廿九日死

華向与 号 本院院實山知光女重子

女 上杉新了 卯辰女

女 上杉修理 卯辰女

七代目 上杉新了 卯辰女

卯辰女

女 母后山氏女

實 山氏女 卯辰月

女 母后山氏女

享保十七卯年三月廿八日卯辰月

寛保元西年七月九日  
寛保二年九月廿九日  
葬日号 智山院 寛保日 徳左衛門

八代目 上様より 西条 喜 花より 中務

母 喜 氏 女

喜 氏 遺 記 伊 年 初 氏 女

寛保二西年 青 上 氏 女

天明八西年 十月 十日 所 月 元

天明四西年 十月 十日 所 月 元

天明二西年 十月 十日 所 月 元

天明四西年 十月 十日 所 月 元

葬 回 号 号 智 山 院 日 徳 左 衛 門

長 多 始 青 上

76

喜 氏 遺 記 氏 女

喜 氏 遺 記 氏 女 喜 氏 世 子 所 氏 氏 女

天明四西年 十月 十日 所 月 元

天明二西年 十月 十日 所 月 元

寛保三西年 十月 十日 所 月 元

右 通 心 氏 女

寛保三西年 青 上 氏 女

加  
平  
新

系  
譜

十  
海  
平  
十  
新  
系

89

平  
氏  
加  
平  
新  
系  
〇  
加  
平  
新  
系

17  
2

小  
平  
新  
系  
加  
平  
新  
系  
〇  
加  
平  
新  
系



平姓  
之叔

先祖推古天皇御時  
之叔法皇之御孫  
正位者  
大正九年  
葬法皇太子御孫

忠之叔 九皇  
幕夜 九皇  
之叔 九皇

38

正實嫡男

政形

安房守

母子

妻法皇國體之御孫 推古天皇女

元祿九年五月廿九日生

常世天皇御時

正位二年 貞享元年八月廿五日見習御物

被立御物 貞享元年八月廿五日

大正九年八月廿五日

同日

同日

初年... 實係... 延享... 同... 同... 同...

全... 同... 同... 同...

正色

母 松園女子

年表

右... 有... 有...

所目見付

宝曆九己卯年四月廿八日  
同年七月廿八日  
西尾院  
又  
同  
華北  
母  
親奉  
約井

母右向

通嘉

河津

先文  
他  
宝曆  
出  
母  
母  
母

正

正

母

妻

延享三己丑年正月廿三日

懐胎云所休 至曆十月辰年十一月廿三日

男 秋元 但多故 居後 父の 宗子 依 弓口 跡 於 与 在 成

安永三 甲午年 正月 廿三日 宗子 依 成

同 文 丙午年 正月 廿三日 宗子 依 成

所 目 元 依 成

91

17-12

長の二己亥年十月廿三日 宗子 依 成

寛政己亥年十月廿三日 宗子 依 成

天明辛酉月廿三日 宗子 依 成

名 号 松 村 祖 庭 后 宗

一 卯和 乙亥年 正月 廿三日 宗子 依 成

一 天保 乙酉年 正月 廿三日 宗子 依 成

女子 田 島 惣 次 郎 宗 子 依 成

女子 田 島 宗 子

女子

女子

宗子 依 成

政富

全三行

母 河田吉房妻

年妻

安永六年十月十日生

高洲代 安永七年十月十日生

河田宗吉 安永七年十月十日生

河田宗吉 安永七年十月十日生

同八年十月十日生

同十年十月十日生

92

河田宗吉

高洲代

河田宗吉

河田宗吉

河田宗吉

年妻

安永七年十月十日

河田宗吉

吉

5  
勢

系信

未可ノノ  
今也

平氏  
即之  
海之

小  
海之

平氏

海之氏

平千葉氏

桓武天皇後胤千葉陸奥守胤忠公出處  
國海之能修名功立名海之君宗海之  
能海守胤國公休一孫同國能修名後  
海之能修名胤忠

幕之紋 月之

赤之紋 右之

碧之紋 九之南

九一六

海上原之胤忠

胤忠 海之氏

母 忠子

壽 少知

年月日 天智元年 北之

崇善堂 所代自字身中神田院 少胤忠之

久保 十丁丑年 月日 記 忠定之

祇布所 遠所 所代自字身中神田院 少胤忠之

月日 少知

同十 天智 乙未 八月 日 所自見之

正信 四年 壬午 三月 日 所自見之

宣統元年八月... 宣統元年八月... 宣統元年八月... 宣統元年八月... 宣統元年八月...

宣統元年... 宣統元年... 宣統元年... 宣統元年... 宣統元年...

自序

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年



元文世己未年八月... 迎少室山... 乃不根... 乃不根...

寬延三年... 年少... 華香院... 乃...

流唐

華香院... 乃...

寬

乃...

寬

乃...

乃...

寬

乃...

乃...

壽

乃...

寬保十三年... 乃...

右... 乃...

乃...

同... 乃...

乃... 乃...

乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

同治辛酉年五月廿四日

御目見付

家曆己丑年五月廿七日丙寅日  
同八月廿九年甲子年六月廿三日  
并西地中人組の若入の以長官所  
之縁由

同十五辰年四月

恒任公 所 以 所 以

同土年己酉八月廿三日  
所 以 長官所 所 以 所 以

同十二丑年己酉八月廿三日

97

以 所 以 所 以 所 以 所 以

以 所 以 所 以 所 以 所 以

以 所 以 所 以 所 以 所 以

以 所 以 所 以 所 以 所 以

以 所 以 所 以 所 以 所 以

以 所 以 所 以 所 以 所 以

以

海 上 所 以 所 以 所 以

以 所 以 所 以 所 以 所 以

以

以 所 以 所 以 所 以 所 以

加 以 所 以 所 以 所 以

以 所 以 所 以 所 以 所 以

胤政三 城柳

母 乙月

右城柳胤政胤曆三年己未四月廿五日  
山崎子胤政胤年四月廿五日

胤貞

常柳胤貞胤年四月廿五日

母 松平久左井 乙月廿

專

小室胤貞  
胤政胤年四月廿五日

室曆三年己未四月廿五日

後明正代安永六年四月廿五日

胤貞胤年四月廿五日

小室胤貞胤年四月廿五日

胤貞胤年四月廿五日

胤貞胤年四月廿五日

胤貞胤年四月廿五日

胤貞胤年四月廿五日

胤貞胤年四月廿五日

女子

早世

母 松平久左井 乙月廿

某 是也。 常の印

母 女子

女子 早世

母 女子

女子

新子 早世

母 中村 早世 合意所

通流

早世

母 早世

女子 早世

母 早世

右之通 早世

与百共指 依 本國 早世

生國 早世

清原 早世 早世 早世 早世

宣政 早世 早世 早世 早世

海之 早世 早世 早世 早世

早世

5  
源新

未十三日  
法和係氏

法和係氏  
八百七拾六番  
〇 堀田長宗

字名記海名  
抄換り

堀橋次郎大吏

清和孫氏

堆橋氏

新羅三命子孫光流小治系十命養清  
十三代堆橋十命子孫の養伴是利氏  
佐治系筑麻那堆橋子孫佐治氏  
家名堆橋と稱する養伴は曾孫  
九代光伴母を、苗氏原の女子  
中の光伴嫡子十命の通伴時と名  
堆橋相改中の養伴と名堆  
子、相改中

101

養中改

家改

整改

堆内、利貴

堆内、利貴

女と相

三葉血書改、略し、二葉血書改、  
中の子孫、理橋十命子孫の養伴時、  
皇子利貴、相改中の堆橋と名  
佐治時、九代、利貴、相改

小治系十命養清十三代

養伴

十命子孫

母 相改中

年月日... 信列... 埋物... 出...

元少... 相... 信列... 改名... 月日... 常伴...

102

3

直伴 ナツトモ 左

母 相知...

生死... 地名... 年月日... 歳... 葬所... 法名...

伴忠 トモタケ 与...

母 相知...

生死... 地名... 年月日... 歳... 葬所... 法名...

常進 トモノサキ 与...

母 相知あり

生死、他名年号月日、蔵書所迄、名義

あり

政則 平助

母 相知あり

生死、他名年号月日、蔵書所迄、名義

あり

光伴

母 原氏女、名義あり

妻 相知あり

年号月日、相知あり、信則、作那那

103

外生伝

母、苗氏原、名義あり、原氏、名義あり

中、回、年、号、月、日、名義あり、他名、年、号、月、日、蔵書所、迄、名義あり

月日、蔵書所、迄、名義あり

通伴

志

母 相知あり

妻 相知あり

年号月日、相知あり、信則、作那那、原氏、名義あり、本名、理格



方以中... 惟... 字... 改...  
 中... 任... 餘... 以...  
 任... 鄉... 同... 鄉...  
 居... 築... 任... 其... 後... 年... 月... 任... 鄉...  
 那... 自... 城... 移... 中... 向...  
 勝... 職... 任... 長... 上... 引... 長... 德...  
 合... 的...  
 天... 正... 己... 年... 月... 日... 下... 致... 元... 任... 成... 等...  
 所... 任... 亦... 相... 知... 也...

尚律

賀... 勅... 勅...

母

書

法... 刑... 部... 奏...

伊... 賀... 奏...

元... 龜... 二... 年... 未... 年... 月... 日... 不... 任... 列... 任... 鄉... 鄉...  
 同... 所... 鄉... 出... 生... 也...  
 天... 正... 己... 年... 月... 日... 不... 任... 列... 任... 鄉... 鄉...  
 傳... 謀... 臣... 系... 任... 丹... 後... 与... 知... 任... 鄉... 鄉...  
 慶... 長... 元... 而... 中... 年... 月... 日... 不... 任... 列... 任... 鄉... 鄉...  
 退... 身... 任... 列... 任... 鄉... 鄉... 任... 鄉... 鄉...  
 出... 任... 鄉... 鄉... 任... 鄉... 鄉... 任... 鄉... 鄉...  
 年... 正... 己... 年... 月... 日... 不... 任... 列... 任... 鄉... 鄉...

松平忠房等正之介扶助之御羽列御形  
 居任仕年号月日不知要列命津居在  
 仕年号月日不知要列命津居在  
 幼齋寺改修御形  
 寛文二丁元年九月十日八拾歳  
 於或列命津居初死於命津居二丁松  
 兼教寺命津居命津居命津居命津居

紹休

即名聖 幼子所 幼子所

母

係信利幼子所命津居命津居  
 係信利幼子所命津居命津居

る

孝

元和四年八月十日命津居命津居  
 係信利幼子所命津居命津居

元和四年八月十日命津居命津居  
 係信利幼子所命津居命津居

寛文元年七月十日命津居命津居  
 係信利幼子所命津居命津居

元禄十六年八月十日命津居命津居  
 係信利幼子所命津居命津居

壽伯

命津居命津居 壽軒

母 同人

年号月日不知... 伊那郡... 同... 郷高遠... 出生... 病死... 歳月... 葬... 所... 法名... 不知... 母

忠伴

知名... 鹿... 徳... 傲... 母

母 同人

年号月日不知... 伊那郡... 同... 出生... 仁... 杉... 水... 居... 母... 病死... 歳... 年... 号... 月... 葬... 所... 法名... 不知... 母

106

20

伴胜

知名... 長... 若... 母

母 同人

年号月日不知... 伊那郡... 同... 出生... 遠... 出... 生... 仁... 病... 死... 歳... 年... 号... 月... 葬... 所... 法名... 不知... 母

女子

知名... 母

大野... 金... 母

母 相... 母

知名... 母

俊彦

知名... 母

書

四書後集

忠節善子

字文之世野年人正器昨後人

姓田得翁為系忠節一也

天和三年五月廿七日

右平儀海人

元禄九年四月廿九日

文昭公所代

右五郎

同年

107

五

右平儀海人

元禄九年四月廿九日

右五郎

同日

右平儀海人

右五郎

文昭公

元禄九年四月廿九日

右平儀海人

右五郎

五

右京大藏御所

文部省 法外竹中 傳書留本 宣和九年 月 日 未

右味九才 以所抄

宣和元年 年

文部省 宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

108

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

宣和元年 年 宣和元年 年 宣和元年 年

二市後孫道号 葬号 和光院 歿年日 耀

敷具 出所

中女 妻 勸修寺 志 郷 忠 子

實父 杉平 此 後 居 寺 其 惟 橋 傳 乃 乃 乃

實母 山 子

身 永 廿 五 年 月 日 早 生 五 六

右 忠 修 寺 依 後 有 遠 二 續 以 歸 夫 子 成

享 保 十 七 年 二 月 廿 六 日 卯 子

右 傳 上

惟 修 寺 上

所 目 見 修 寺 乃 乃 乃 乃 乃

乃 七

同 十 八 年 丑 年 月 日 午 子 亥 歲 初 九 葬 地 上 同

号 是 聖 院 頓 空 日 理

鉅 壽 一 幼 童 頃 幼 童 乃 乃 乃 乃 乃

右 傳 上 人

實父 瑞 乃 乃 乃

瑞 乃 乃 乃 乃 乃 乃

實母 瑞 乃 乃 乃

瑞 乃 乃 乃 乃 乃

專

惟 橋 五 年 後 傳 乃 乃

身 永 大 正 十 五 年 二 月 日 午 生 五 六

右 傳 上 乃 乃 乃 乃 乃 乃

享 保 十 八 年 丑 年 月 日 午 子 卯

有傳云

惟存系 所目之... 同十九年... 建於氏...

實保... 聖德... 強...

延享... 安永...

天保... 光...

百八

110

編之... 天和...

同...

同...

号...

女子 早也

母 表...

女子 孝...

母 志...

女子 馬...

廿二日

信厚 字如竹 即右通 又云 信十郎

孝母 堆橋五平信厚母

實父 茂大信者 林文之入信如湯男

實母 天長後攝 六年考志勳 賴實對女

實父 東部河内國竹子木子母女

專 堆橋權九郎能登母女

享保十三丁未年正月廿六日所出也

右信十郎依 長續新書子成

五九

信信

實曆三年九月廿九日新出父權命駿府在書  
四服之者之知也

信信 信信 所目之信 献上物信

天保八世申年四月十日考志文權命所引之通

張信の所引考志信十郎の所引考志文權命

小書信組并上御信子成

同年十月九日

所目之信 考志 吉長 敏之信

同年四月九日考志本信信子成 考志 吉長 敏之

以考志信子 上御信子成



寛政元年子年八月三日病歿於通小  
室所由此後其後生於氏

同六月四年四月廿九日於通院卒於氏中  
同十月四年八月廿六日於通院卒於氏中  
上日 号允文復次年日感

女子  
母 推搦之計後浮世

女子  
母 寛政元年正月十日於通院卒於氏中

百十

母 旨

系 八三惠 早也

母 推搦之計後浮世

推搦之計後浮世

母 上日

妻 西元寛政元年正月十日於通院卒於氏中

寛政元年正月十日於通院卒於氏中  
同十月四年八月廿六日於通院卒於氏中  
同六月四年四月廿九日於通院卒於氏中

海野依海之紀

河上乙卯年四月十六日而著其書乃依其  
建於河上依海之紀

大坂正書之序

同九月己卯年三月而著其書乃依其

依其乃依其乃依其乃依其乃依其

女子 心腹也乃 其能富乃也

母 上白

系筋 幼成也 養助

母 上白

乃十一

113

富野十一身己卯年四月十六日而著其書

其能富乃也乃依其乃依其乃依其

其能富乃也乃依其乃依其乃依其

女子 早世

母 堀田氏之女子

女子 母 上白

母 上白

女子

母 上白

有通...

高部...

中国... 生回...

吾...

寛政十二己未年

誰橋次郎左文丸

四十七歳

114

未... 子...

氏... 公...

系譜

辛酉

子...

小... 打...

源姓 折越氏

源和五皇孫流胤出立系在系在又  
長治有曾孫引大井人井  
吉朝朝光十一代源折越官氏  
光朝朝中利源折越氏仍并  
越十號

銀之收 三階美

帶之收 由一文字三三

子之收 由一文字三三

幣之收 折越美

乃十

折越高代光三

龍厚年

始孫在年

光澄

母不知 妻不知

年有月日不知的小不知名之收光

弟不知同利源折越氏在年

弟長〇年

權現持奉原龍瑞合孫之子石羽利

折越常列行年知知美

折越長六子年讓別國系河折越

一折越折越折越折越折越折越

所利運後同公無修其く、四知修不  
其立代立有ら其之後有以迄居在  
其引能傳性身日其死子葬  
不其名号暢室傳貌

光久 左邊

母不知 妻不知

年号月日不知 如月不知

名德後修  
大秋後修  
所代其公考合ら其立迄

百一七

寶永十一年八月七日其父死男子  
其父其母其家以死其年不知其母  
中利致其修能修寺其葬

号 国宗 秩上

光程 活字 幼名不知

母不知 妻不知

年号月日不知 其母不知

寶永六己巳年其母

同十一甲戌年

大秋後修其父其母其家以死其年不知其母

子多悲心兄光久死男子也其母亦  
悲社々如也書後若以所付以切本  
三乃依歸 之後至以切歸之其母亦  
信相以仕所命也乃信也下

岩手縣森田氏

寛文十三年年二月廿日死○其  
年以九月長泉寺葬  
号 隆山常心

光業

信之 隆山常心

乃十女

117

春母 弟也

實父 務取新之介長也男

實母 弟也

喜 小野之四吉女

年身月日不知其能回也生

大猷 漢林所氏 年月不知其能活之

實種 春子之信也

万治二己亥年八月十日死

光九

岩手縣森田氏所用之仕郎也其母以書後若

其母也

中書六部切實上之儀端表又作人死  
禮中上之儀後物亦作有狀  
常憲度稱所代

元祿八乙子之○古月心單之極品以母所  
中他亦平其後又  
同正廿五年平四部米亦多餘一也  
似牙上野國於其一於四只村山月  
下下相和伊之也相之也  
西條二之辰年十月廿日死在平也

る一云

日寺上華号 名竹院 任是福歩  
女子 中書度稱所代 内度 官人 章政 喜

光高

大夏

以流 平 喜

母 小野之内者次女  
喜 朝比奈海島之末末園也

身長月日 不知武藏 玉 喜

常憲度稱所代

所自之也  
以流 平 喜

元禄六年十月十日  
 相入 日十月 己年  
 家永元甲申年  
 修 日六月 己年  
 常憲後所化界  
 父治人死  
 正德二壬辰年

百十七

右德後所代  
 正德二壬辰年

政 莫  
 酒井 長興院  
 正德二壬辰年



心 卷五  
少卿之内去讀也

元祐元年五月廿九日

以書後著本向院為其地 海井他乃  
君乃之成也

光係

新母 似

母

少卿著 抄本 卷五  
少卿他地 卷五 卷六

書

員 卷五 卷六 卷七

貞享二年三月廿九日

百八

常憲院所外

元祐元年三月廿九日  
少卿之內

少卿所外

少卿之內

少卿之內

少卿之內

少卿之內

少卿之內

少卿之內

世祖... 新... 内死

政

酒井平兵衛

母 朝比奈海惠

正徳乙未年

山内... 池...

光

左

右

百十九

(21) 122 123

養母 青木... 實父 松波... 實母 不知... 生母 長安...

有德... 享保二十五年... 實父... 實母... 生母... 享保二十五年...

母於九月廿五日卒於家  
 子一似有狀也  
 日十九日卒年六十八  
 子一似有狀也  
 實係二在子月於於母  
 日死於家  
 身任多事取於後  
 延享元年八月九日卒於家

為元

24

日二十三日卒於家  
 知上每卒年子於於  
 日二月初五日卒於家  
 實係元在子月於於  
 用初十日於於  
 日二十日於於  
 實係元在子月於於

所因本勅令...

曰上登五年十月...

成之...

所...

家曆...

米...

有...

有...

那...

女子

養子光福喜

乃九一

125

養子

田子用入

朝...

實...

法...

光中

天...

如...

養母

...

實父

...

實母

...

喜

...

喜

...

官名西尾平吉... 河井... 延享元年... 政令新志利也

中... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

... 延享元年七月... 政令新志利也

知の... あり...  
 中... 知... 人... 於... 仍...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃...  
乃...

129

同元丁巳年... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃...

乃...

乃... 乃... 乃...

女

世

了

寛政元年己未年四月廿五日 河内守共妻下  
女 御那子孫所是作向し作付  
同日丁巳年九月廿七日 河内守共妻下  
同日己未年十月廿七日 河内守共妻下

克定

河内守

母

河内守の恒依妻女

河内守 壬辰年三月廿七日 死

128

乃九四

系

去

母

了

河内守の華号 河内守 恒依妻女

河内守 壬辰年三月廿七日 死  
河内守 壬辰年三月廿七日 死  
河内守 壬辰年三月廿七日 死  
河内守 壬辰年三月廿七日 死  
河内守 壬辰年三月廿七日 死

克定

河内守 壬辰年三月廿七日 死

河内守 壬辰年三月廿七日 死





某

右新 早世

母

右村方乃恒依女

某

合三命

母

日之

女

早世

母

日之

女

早世

母

日之

某

張之申

母

早女

80

るんて

光之

右更

加後申

母

松種年乃弟兄共女

女

母

日之

右之通河原之云

右之通河原之云  
右之位  
右之位  
新中村早目

寛政十二年十二月  
右之通河原之云  
西

3

未十二月形  
右向志解書

系信

氏  
十八番 ○ □  
右向志解書

131

乃十八

西九  
山書院書右向志解書

浦上孫右介

紀氏

浦上

人皇八代孝元天皇の出生紀原多

同防多 瑞宮 在出 右史 正則方 又在

同防多 瑞宮 与 皇太后 垂徳 正則

瑞宮 后元和元 外年 紀別南 瑞宮

正則 山 母方 瑞宮 浦上 瑞宮

瑞宮 正則 八中 瑞宮

家之 正則 二月

百九

132

瑞宮

八中 瑞宮

与 皇太后 垂徳 正則

皇太后

正則

正則

瑞宮

八中 瑞宮

正則

正則 下村 正則 瑞宮

正則

正則 瑞宮 瑞宮

正則

正則 浦上 瑞宮 瑞宮

正則 和 瑞宮 正則

有他云云... 入... 何年

六月... 何年

同日... 何年

同日... 何年

石...

本...

同日... 何年

同日... 何年

同日... 何年

家合方殿 亥柄打レ 可知近 継有 家  
 系 利多儿 継之 別入 之 既見 是 継  
 家 射 傳 之 下 系 之 是 之 存 存  
 物 之 有 澤 依 之 以 射 今 之 所 物 作  
 延 享 四 丁 卯 年 以 有 之 所 先 有 之 以 延  
 同 年 上 丁 卯 年 以 有 之 所 先 有 之 以 延  
 之 所 射 方 相 年 有 之 所 先 有 之 以 延  
 之 所 射 也 丁 丑 年 以 有 之 所 先 有 之 以 延  
 病 死 市 名 長 幼 之 以 延  
 以 名 在 樹 院 保 及 徹 心

134

乃一

女子

母

其 子  
 浦 上 河 方 之 五 方 喜  
 後 田 屋 通 子

系邦

亥 代 卯  
 巳 吉

母

其 子 孫 所 爲 也  
 浦 上 河 方 之 五 方 喜

喜

其 書 後 奉  
 河 野 氏 乃 之 獻 通 子

於 以 多 也 生

元 文 二 丁 巳 年 九 月 十 日 高 野 乃 河 野 氏 爲  
 有 傳 之 以 卯 年 所 月 見 之 卯 月 在 也

新屋修之

竹久代稱 所寄各々名蹟馬所休日修月  
寛保元 尋有年 十月十八日

有休之四少細入日 正徳五年後以新上書信

以り多り方 在り多き修月修月修月修月

同年十月十八日 有休日 修月修月修月

修月修月修月修月

延享元年 甲子年 十月十八日 修月修月修月

修月修月修月修月 修月修月修月修月

同日乙丑年 十月十八日

三十一

135

有休之四少細入日 正徳五年後以新上書信

延享元年 甲子年 十月十八日 修月修月修月

修月修月修月修月 修月修月修月修月

同日乙丑年 十月十八日

有休之四少細入日 正徳五年後以新上書信

延享元年 甲子年 十月十八日 修月修月修月

修月修月修月修月 修月修月修月修月

同日乙丑年 十月十八日

有休之四少細入日 正徳五年後以新上書信

延享元年 甲子年 十月十八日 修月修月修月

延享三年正月廿七日  
延享三年正月廿七日

同日甲辰年正月廿七日  
同日甲辰年八月廿七日

恒島貞吉  
恒島貞吉

延享二年正月廿七日  
延享二年正月廿七日

石六

恒島貞吉

政本

母

母

延享二年正月廿七日

恒島貞吉

貞吉

母

母

延享三年正月廿七日  
延享三年正月廿七日

五郎

御之進言

母

高月

安永の初年四月一日、父兄御之進言、  
高月御之進言、

女子

母

高月

四先子御之進言、  
井之進言、

素元

右系

母

高月

於江戸御之進言、  
河津御之進言、

187

右系

右系系

安永の初年、青方、  
高月御之進言、

高月御之進言、  
高月御之進言、

女子

高月

高月御之進言、

母

高月

高月御之進言、

五郎

高月

高月

高月

高月

高月御之進言、

高月

高月御之進言、



官母

此係原書本

後向以地也

喜

西元後漢

大原縣馬場郷也

能生

右高書美只浦上進以多系邦家子

其似浦上右系家延慶元年病死

男子以似此以付

安永元年 二十有 而養子似此

其似此也

同此以中年以之 而此也 似此

養子以 似此 同年 十有 而此也

乃此也

88

所養人以似此 而九 以書院者水谷伊織

但入古節也

天以元辛 丑年 而十 言 似此

病死 似此 而向也 其葬

法名 衛兵院 去 峰 矣 似此

系者

和以

似此

母

名女

書

交代後代大原縣

柳原里也 長良女

實政六 享年 十二月 病死

孝

平書院書

年書物之序及史女

天の七丁申年 有古言 心書物之史女  
細言 所目見仁

同八戊申年 亦有古言 心書物之史女  
以古言小書物之史女 心書物之史女  
寛政元己酉年 亦有古言 心書物之史女  
以古言小書物之史女 心書物之史女

寛政八丙辰年 亦有古言 心書物之史女  
以古言小書物之史女 心書物之史女

心書物

139

寛政元己酉年 亦有古言 心書物之史女  
以古言小書物之史女 心書物之史女  
同七己卯年 亦有古言 心書物之史女  
以古言小書物之史女 心書物之史女

依野久之

政久

母

家女

天の七丁己酉年 亦有古言 心書物之史女  
以古言小書物之史女 心書物之史女

系圖

芥川氏

五代河津代太左衛門

母 柳原里變守長良女

某

母 柳原

母 柳原 早世

母

母 柳原

母 早世 芥川氏

右通

芥川氏

子 三右衛門

母 芥川氏

母 芥川氏

寛政十一己未年

三十一

AD

140

るれ七

壬子年

御川

御川

御川

以之程書

う

花

甲子年

御川

御川

高木姓

源宗

足利三代義満の御代に成り家系は源氏流宗

平之助の宗の御代に書物にあり

家之御代にあり

御代に御物にあり

源宗平之助の御代にあり

高木

高木

高木

高木

高木

高木

明暦三年三月十日にあり

高木氏の御代にあり

御代に御物にあり

御代にあり

延享元年七月十日にあり

御代にあり

天明三年六月十日にあり

高木氏の御代にあり

吉高

子年

母

杉田内膳

杉田内膳之女

喜

生

元和正徳元年七月於杉田内膳家

於通

同年八月

元禄十一年

於

宝永九年

子年

142

文昭公

同日

改姓

同

酒井

正徳六年

子年

勝

母

生事

生事

正徳六年甲午十月廿五日自於通津  
出雲路入朽木因路中經成

字保九月辰年八月廿七日甲辰所城助者  
以修村身津能定与記成同於八月廿八日

甲辰所城一書

有任下 山月之竹

同年十月廿七日甲辰長子誠於通津因所  
屋長建家大津於竹

301

163

正徳八年壬寅年十月廿七日自於通津於竹  
家智忠子胸之忠自於竹上りりりり

出氷五石甲午年三月廿七日甲辰福北年  
七十五号休安日寅甲辰遠克馬村果川  
山保回寄一書

系

山月之竹

後年立書

母 古月

年月日未詳系保系其由書成年月日  
秋少志所書竹

延享二年三月廿七日遠於竹上りりりり

貞勝

剛之忠

孝介 信房

實父 田島 剛之忠 大久保 孫作 忠 隆 隆 隆

實母 山崎 剛之忠 大久保 孫平 忠 隆 隆 隆

妻 早野 剛之忠 和 田 中 剛 之 忠 隆 隆 隆

生 山 房

實之孫 三 實 實 年 十 有 六 之 續 勝 門 忠 隆 隆

實之孫 八 實 實 年 十 有 六 之 實 父 剛 之 忠 隆 隆 隆

剛 之 忠 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆

川 勝 道 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆

144

501

昭和六年五月十五日 昭和七年六月十五日 昭和八年七月十五日 昭和九年八月十五日 昭和十年九月十五日 昭和十一年十月十五日 昭和十二年十一月十五日 昭和十三年十二月十五日 昭和十四年一月十五日 昭和十五年二月十五日 昭和十六年三月十五日 昭和十七年四月十五日 昭和十八年五月十五日 昭和十九年六月十五日 昭和二十年七月十五日 昭和二十一年八月十五日 昭和二十二年九月十五日 昭和二十三年十月十五日 昭和二十四年十一月十五日 昭和二十五年十二月十五日

胎正 全 昭 之 信

母 忠 女

兄 剛 之 忠 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆 隆

胎正

全 昭 之 信

忠 女 和 田 中 剛 之 忠 隆 隆 隆

實 父 山 崎 剛 之 忠 隆 隆 隆

實 母 忠 女

喜 甲府御書  
松平重定之礼 嗣此系孫為忠候也

子喜 右向人吹子

生甲府

昭和七年三月五日自府邸通胎正  
御東朝中子の日也

同年三月十日表又自府邸通胎正  
勸着山公出雲守子也

寛政十四年四月十日外通胎正  
高智中子也 第三年 胎門 下下也

胎門 第三年

母 和向方人方信子

兄金次重治胎正子也

者定 始居和向 新四年

母 右向

胎門 第三年

者母

實父

實母

生喜

和向方人方信子

胎正自胎正也

和向方人方信子



於甲子年

實政二年庚午年六月丙子日胎

胎門依

同日壬午年四月丙子日胎

修月家智胎門

遠望宮

實政十一年年十一月十日

子紀成

女子

母 朝比奈氏

乃

胎行 永吉

母 右向

永胎 十吉

母 右向

胎行 右向

母 右向

永吉

生年

胎真 實政

母 女子

右之通定於十戊午年近成

高部方抄本

中野部  
生國中史

津島部  
甲府部

享和上卷五年十月

津島部

出

147

為之記

和編家流承平之系  
存年之速時日修事の修

系傳

甲府部

津島部

津島部

高宗姓

高宗

高宗姓陰子也亦子高且高名高宗高

家之故 危甲内十字

故 稻穂内十字

幕之故 鞠内十字

某 高宗

母子高

事高

乃上

生高

年月日國所高

神名高 高宗高 高宗高 高宗高

高宗高

年月日國所高 高宗高 高宗高

高宗

高宗

母子高

事高

生高

年月日

大猷公之... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年...

廣安乙酉年... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年...

所見之... 宣文十一年... 宣文十一年... 宣文十一年...

某

子

子

149

某者母妻生國兵事海軍上...

乙酉年...

去方 十册

林家尚... 勤著... 係京...

某

始名...

後...

某母...

宣文... 係京...

宣母... 係京...

書

生

年月日

年月日

年月日

年月日

年月日

昭和三年五月 東京

七年七

未十有六日  
物田

系譜

年月日  
物田

物田

物田

物田

物田

其系性

係

幕

抱

家

目

勢

空

法

正房

母

第

喜

口

百八

生國年月日

年月日

神君

大坂長

家

實

法

定常

母

第

喜

喜

慶長六年十一月廿三日

陽明道至西尾

元和九年正月廿五日

台徳之所成 竹見

竹井上印記

正保三年正月廿五日

若月長政

慶安元年十一月

大猷台 竹見

九

同二年八月

同二年八月

同二年八月

同二年八月

定

定

定

定

定

定

定

定

妻 家女

寛永六年八月十日 出雲守家  
慶永二丑年八月十日

出願之所代 田付町 住持 徳寺 久義 法修  
平化元年 八月十日

元禄十六年 正月 相勤  
四月十日 病死 七十五歳 葬 徳寺 門跡 地中  
前 宗廟 入 葬 法名 徳光院 釋宗 休居士

定茂

清和

石

母 家女

妻

法修通益西郷女

元文五申年 四月 十日 病死 年 五 十 二

葬 徳寺 門跡 地中 法名 玄白 葬

法名 照清院 釋妙雲 大所

貞享元年 三月 十日 病死 年 五 十 二

葬 徳寺 門跡 地中

元禄十六年 正月 十日

常憲公所代 出願 徳寺 門跡 地中 法修通益西郷女  
徳寺 門跡 地中 法修通益西郷女



父時、山切來りて

元文二己年と三十九年、お勤法に  
有れ、寛政元年十月、お勤死  
六十八歳、山切地門海地中、右寺に葬  
法名、仲院院轉圓藏居士

定經

清九郎 清乃

母 長子、清乃、  
清乃、道益、正郷、女  
妻 清乃、道益、正郷、女

154

と申

寛政七年、年六月十八日、お勤死、七十歳

谷中妙宗寺に葬

法名、お勤院、時日、眠、大僧

正徳六申年四月十八日、お勤、葬、終

元文二己年十月十二日

有徳、お勤、代、山切地、山切、お勤、法、名、お勤

法、名、お勤、法、名、お勤、法、名、お勤

法、名、お勤、法、名、お勤

寛政十二年、年、三月、山切、お勤、法、名、お勤

法、名、お勤、法、名、お勤、法、名、お勤

松平揚清公殿  
長久保守邦公殿

同十三馬年十一月於  
松平右衛門左衛門公殿

明和九年八月廿日  
平右衛門公殿

同二馬年十二月  
吉殿公殿

同三馬年四月  
同六馬年十二月

155

万少一

此味方改改  
同六馬年三月

日光御社  
安永二馬年九月

同四馬年三月  
同六馬年三月

同六馬年三月  
時帳二條

同六馬年三月  
同六馬年三月

同六馬年三月

金部改法在任同年十月十日

浙社系所用是分

同文中華四月六日

浙社系所休以修後同日

右進即登版以修後 日克

浙社系所用用職亦勅

去致洋紙任

同七年十月十日

濃別物列川之

六十以服之

乃由

同八年三月十日

浙日見任自五月

時後二金部改法

同九年三月十日

八日病死

法名仲光院釋

年島 海島

休宣

母 日

享德十四年四月十日

延享二年三月十日同日有御幸御所  
 德乃年内宣照太子成者又平内御所  
 下御本助明和三年二月返任

御幼御友  
 御任記

女子

新幸喜門改之喜

母 同

女子

安田園之進正盛喜

母 同

女子

母 同

りりり

何名も承給候之旨

定殺

御幼御

承取御

清喜

母

右近衛守政房  
 法信道直正養女

喜

青木石年如之喜

明和六年七月十日病死化御十計歳  
 御世大御者其葉依法重後御元孫貞太郎

後喜

石村忠之入屋院喜女

寛政三年十月十日、病死三年、年一、筑北  
某法名、抛光院釋妙善大姉

寛保二年、五月、北六日、江府、出生

明和元年、十一月、十日

後明之代、沙羅、  
漸、  
作、  
同、  
同、  
安、

此作、  
其、  
此、  
柳、  
其、  
清、  
此、  
多、  
十、  
九、

杉本右衛門定雄は作後甲引川に  
所用御事作日二月廿七日  
御令取致陸軍任四年四月十八日  
仕向大分守府  
御月之仕向大分守府  
御令取致陸軍任  
天明八中年八月十日  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任

右ノ一ニ

寛政二十年青田中人  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任

日全

御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任

延享元年四月十日  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任  
御令取致陸軍任

宝曆九年二月

右日全俊元心法地方因結年之份  
組之奉勅果於任之於臣中候  
法花宗至列王以妙法花宗等  
二代日志中子成物象仕古与候職仕  
寛政七年九月十日病死信  
年二歳至列王以妙法花宗等  
法名真運院日全

女子

元崇定  
若修物良翰書

乃少一七

女子

母曰

明和元年十月元心法因身少川  
修之清乃知婦也  
同六年六月九日永保有難別仕  
寛政二年十二月在古大所者  
小依子美以命修清妻也

定継

母  
法地  
田中知春信也  
吉本在年以女子

明和七年正月十日府出生  
 寛政七年二月十日病死後地葬  
 法名院三院釋系隆居士

定高

定高

實父

大活以 西谷姓三郎  
 安田守一惠西清

實母

中川中右衛門  
 中川中右衛門

右富家宗成和信身遠く遠く  
 寛政八年八月年八月年  
 何月十日大八分五白第女

如書村志記即通

養女

乙向三郎  
 乙向三郎

寛政元年九月十日府出生  
 天明六年九月十日病死後地葬

女子

養子 德盛 第三年 定高妻

母

乙向三郎  
 乙向三郎

如通 山本



高規米六拾石  
生田五石

居屋要田拾石

寛政十一年

漆崎清三郎

未年歲

五

六九

未年  
船越磯河書

系譜

氏  
言齋居坊田豊元

9  
氏

小室氏和船越氏

漆崎清三郎

小休日齋名 孫三代

信安

母 不知  
妻 同

年不月日不知早世及而出生  
年月日不知即由信安仕何也  
公我云云未叙中何欠否何屋位云  
為應多欠苗氏之孫用改改所  
定故瑞室功改之万字治中何也

○最長我二種し中何  
の思取云云也。

元祖源姓  
孫之氏  
先祖惟少少  
子知  
幕後師室  
家之改日  
幕後万字

年月日年數不知而北在之野山某  
法名通字禪定門

去字

方字也

母 不知  
妻 同

年月日不知早世及而出生  
同の年數不知而北在之野山某  
法名通字禪定門

名系

不知新名

母 不知

喜 日

年月日不知甲申又壬午生

同日甲辰或曰作命仕作命死去

之後復入仕甲辰水作命仕

年廿口年 齡而和病死仕之野山葬

以名貴庭通門

不知

名系

八三

母 不知

喜

他日不知事  
次并治命仕之孫也

年月日不知甲申又壬午生

神名所代 廣基十八年正月日不知

不知

名系

大獻 以所代 正相勅命不知所處某百石

地方不知不知不知

慶安天正元年六月七日歲不知不知

下谷長子之墓  
信長支性院地降日碑

子據

三卯

母

妻

年月日少初葬於西山

大藏公所代正德四年三月廿九日葬於西山  
正德四年三月廿九日葬於西山  
正德四年三月廿九日葬於西山

165

慶安二年正月廿九日葬於西山  
慶安二年正月廿九日葬於西山  
慶安二年正月廿九日葬於西山

義格

正卯 正卯

母

妻

年月日少初葬於西山

慶安二年正月廿九日葬於西山

修公 正徳四年方十人分其地至十  
人地内者入此修公曰八月十日  
山印事云 修公是

常憲公 正徳二年十月十日

正徳四年十月十日  
正徳五年十月十日  
正徳六年十月十日  
正徳七年十月十日  
正徳八年十月十日  
正徳九年十月十日  
正徳十年十月十日  
正徳十一年十月十日  
正徳十二年十月十日  
正徳十三年十月十日  
正徳十四年十月十日  
正徳十五年十月十日  
正徳十六年十月十日  
正徳十七年十月十日  
正徳十八年十月十日  
正徳十九年十月十日  
正徳二十年十月十日

石

正徳四年十月十日  
正徳五年十月十日  
正徳六年十月十日  
正徳七年十月十日  
正徳八年十月十日  
正徳九年十月十日  
正徳十年十月十日  
正徳十一年十月十日  
正徳十二年十月十日  
正徳十三年十月十日  
正徳十四年十月十日  
正徳十五年十月十日  
正徳十六年十月十日  
正徳十七年十月十日  
正徳十八年十月十日  
正徳十九年十月十日  
正徳二十年十月十日

法名 惠炬院淨心日量

義名 ヨシノ

母 ハハ

藏方 シロ 延宝七年 月 シロ 日 シロ 持首  
初年 シロ 延宝七年 月 シロ 日 シロ 持首  
勤 シロ 延宝七年 月 シロ 日 シロ 持首  
多 シロ 延宝七年 月 シロ 日 シロ 持首  
代 シロ 延宝七年 月 シロ 日 シロ 持首

直名 ナカノ

新立

母 ハハ

元禄十四己未年十月日不念 シロ 持首  
但大久保 シロ 延宝七年 月 シロ 日 シロ 持首  
孝 シロ 延宝七年 月 シロ 日 シロ 持首

名 ナ

母 ハハ

年月日 シロ 延宝七年 月 シロ 日 シロ 持首  
忠 シロ 延宝七年 月 シロ 日 シロ 持首

女子

母

内郡定  
家白令吏改臣女

女子

重信松平之日以之也  
逸見長子所次孫女

直冬

形云

養母

中府中納言殿高年  
酒依利長孫孫女

實父

深戶長助長孫長男

右平士

實母

内郡高年

河内長助正国女

妻

河内高年

年月日不明我老回世生

常憲公所代深戶長助長孫格才入續流

妻女子孫女

元禄十一年己未十二月廿二日中貴父誅同

孫女遠山長孫孫女孫女孫女孫女孫女孫女孫女

高松同年三月廿二日河内大高孫女

河内高年河内高年河内高年河内高年河内高年

文昭公所代室永六五年病卒河内高年孫女

以所有一柳士依与夫配再成之后  
 弟付因所与之云同年十月六日  
 通治元年八月廿八日  
 正徳元年八月廿八日  
 下谷長吉与之  
 法名法光院 宗嗣日 妻

女子

母

新六郎直次女  
 甲辰中納言直家  
 河原利直女  
 推子所 源在松松

義陳

忠母

乃

安父

所

出合乃清信守二男

安母

自付伊乃孫女

妻

源平新六郎直次女

安福乃孫女

元禄三年八月廿八日

常憲公所代  
 重舟男子  
 好之清  
 源平新六郎直次女  
 安福乃孫女



多和通回日本六年三月在死通算  
出子口作

文昭公所仲室永六郎年十二月廿六日  
其子到通院后以作其家督也  
相違りし事方所老中并之河内殿  
口所後小室治但米津同防也  
其死成于后河平大子之死一節  
有徳公所代官保也其年十月十八日  
大田若大田院治也但所若大  
所代立者其死也其死也

石一也

其後米津出羽守也其死也其死也  
所代官保十三甲年七月廿九日  
其子到通院后以作其家督也  
其死成于后河平大子之死一節  
有徳公所代官保也其死也其死也  
大田若大田院治也但所若大  
所代立者其死也其死也

如

母

如子  
如女

養女

寶女

寶女

深戶村十郎我陳喜

深戶村十郎我陳喜

寶女

養見

一字

養母

深戶新太郎直久養女

寶女

深戶新太郎直久養女

寶女

深戶新太郎直久養女

正徳三年二月不知養女小出生

有徳公所代養女深戶村十郎直久陳喜

石

小養女深戶村十郎直久陳喜

寶女深戶村十郎直久陳喜

寶女深戶村十郎直久陳喜

寶女深戶村十郎直久陳喜

寶女深戶村十郎直久陳喜

寶女深戶村十郎直久陳喜

寶女深戶村十郎直久陳喜

寶女深戶村十郎直久陳喜

寶女深戶村十郎直久陳喜

寶女深戶村十郎直久陳喜



長子... 華法... 全... 院... 休... 日... 致

日  
義  
兵

平

知

母 子

田

喜

久留又正元

實

延

清

五七

...

...

...

...

...

...

...

...

...

義

...

母 女子

右様之虎ノ如義養之實年  
三月八日徳由事仕心由  
相切事

女子

早世

母 古向の

義成

母

貞正  
四君子全記書  
久留之

正光長子

貞正

宣文四年十一月十日

天明三年三月十日  
私父信平年三月十日  
船越路行年三月十日  
船越路行年三月十日  
船越路行年三月十日  
船越路行年三月十日  
船越路行年三月十日  
船越路行年三月十日  
船越路行年三月十日  
船越路行年三月十日

義辰

八千四百

私父信平

母

右内子

義易ヨシノブ

右内子

右内子

母

右内子

女子

中野健以命之邦妻

母

右内子

女子

新子名延生

母

右内子

二十七

養女

山崎治郎子内中野子記

神是干橋カケトシ新賀生女

実父

山崎治郎子内中野子記

実母

右内子

高野多太郎

右内子

新賀生女

寛政十三年

深方共三郎

印



